



本日のトピックス

第1回団体交渉に臨む!!



本部は、2020春季生活闘争要求の実現に向け、中央執行部全員が出席し、郵政グループ主要4社との第1回団体交渉を展開した。

交渉では、かんぽ商品に係わる営業問題を受け、監督官庁から極めて厳しい行政処分が下されている状況のもと、まずは徹底的な改革が必要との覚悟をもって会社協議に臨み、お客さま本位の事業運営を徹底し、信頼回復を第一義としていく決意を伝えた。

また、こうした厳しい状況だからこそ、最前線で働く者がこれからの生活に対する不安を解消し、安心して取り組める職場環境と処遇の確保は必要であり、グループ各社の連携による労働条件の維持・向上は極めて重要な要素であるとした上で、「格差是正をはじめ、客観的かつ合理性のある“あるべき賃金水準”等を見出し、将来に希望を持ち、長く安心して働くことができる環境を労使でともに作り上げるため、日本郵政グループを持続的・安定的に発展させるための原動力となる『人への投資』が必要」と主張するなど、組合員の日々の努力や切実な想いをふまえつつ、要求書に対する誠意ある回答を強く求めた。

会社は、郵便局におけるかんぽ生命商品の不適正募集に係る問題について、改めて陳謝するとともに、再発防止策を徹底し、信頼回復に向け全力で取り組んでいくとした上で、JP労組に対しても協力を要請した。

また、例年以上に現下の経営環境や各社の経営状況を念頭に置きつつ、慎重に検討した上で、「早期妥結に向け、精一杯真摯に交渉に臨みたい」との考え方を示した。

本部は、働く者の処遇と労働条件の前進に向け、全力で春闘交渉を展開する。

(担当：千葉)